

## 救命講習レポート

風の子クラブ 川原郁美

救命講習は、自動車免許を取る際に受講したっきりでした。今回の講習で、新しい AED があることや応急処置、救命行為をすることで多くの命が救われてきた例が増えていることを知ることができました。救命行為をするときに、AED を使うべき場合があることはもちろんわかっていますが、いざ自分が使うとなるとためらってしまうと思います。そんな人たちがいることを考慮して、心的な負担が救助者にかからないように、スイッチを押しなくても自動でショックを加えてくれる AED が開発され、日本でも使えるようになっていることに驚きました。スイッチを押す AED の使用方法しか知らない状態で、自動の AED を使用することになったら、スイッチを探して焦ってしまうと思うし、時間を無駄にしてしまう可能性があると思います。今回の講習を受けたことで、新しい AED を使用するとき困らずに済むと思います。また、救急車が到着するまでにできる救命行為はいくつかあり、それを迅速に正しく行うことで救える命があることを、あらためて学びました。

風の子でも、いつどこでどんな命にかかわる事故が発生したり、症状がでたりするかわかりません。迅速で適切な対応をして、少しでも命を救える可能性を高められるように学んでいきたいと思いました。特に、大人に対する心臓マッサージの仕方と、子どもに対する心臓マッサージの仕方は違う場合があること、体重差によって押し込む強さを変えられるようにする必要があることを覚えておきたいと思います。

あらためて、自分の知識を新しい情報に更新していくことの大切さを感じました。